

ほくと七星

No. 89

令和8年1月1日発行
発行人 戸嶋 光成

☆統制された情緒関与の原則

☆秘密保守の原則

☆意図的な感情表現の原則

☆非審判的態度の原則

☆個別化の原則

☆受容の原則

☆自己決定の原則

HOKUTO SEVENSTARS

正貨

ほくと神社

笑顔つないで夢つなく

Smile for Dream
社会福祉法人

北社 HOKUTO



編集発行 社会福祉法人 北社

障がい者支援施設

ほくと

〒010-0146 秋田市下新城中野字街道端西11-1 TEL 018-873-7801 FAX 018-873-7805

理事長あいさつ

「新年のご挨拶」

社会福祉法人北杜 理事長 碓屋 誠一



新年あけましておめでとうございませう。お客様・職員の皆様・取引先様に日頃の「社会福祉法人 北杜」に対するお気遣い並びにご厚情に厚くお礼申し上げます。

介護事業における二〇四〇年問題へ向けて十五年間のスタートが昨年より切つて落とされました。

如何なる取り巻く環境の変化が有つても「社会福祉法人 北杜」はお客様（当法人ではご利用者様をお客様と呼んでおります）とご家族様へのより良いサービス（健康と生命と尊厳の保持）を提供する為に介護現場で働く職員と家族の暮らしを守り地域社会と共生し経験・資格取得等研鑽により高度で心温まる介護サービス提供を目指して日々の運営を持続して行く事をお約束致します。

法人及び各事業所の取り組みをテレビ・新聞その他で外部発信をして貰い、その効果も相まって来年度新卒者二名の採用も出来て継続して新しい仲間を増やす事が出来ております。

法人内各種行事も計画通り順調に開催が出来てお客様とご家族様の要望に職員の企画が相まって喜んで頂ける回数が増えております。ほくと事業所内の図書室にお客様とご家族様との面会コーナーを設置して季節感漂い癒しが得られると評判を呼んでおります（ご来訪をお待ちしております）

対外競技大会ではeスポーツは三連覇、ボッチャ競技は二連覇を果たしお客様・職員共に大喜びです。

特にボッチャ競技は事業所内ホールに常設コートを用意して技術力向上とお客様同士並びに職員の交流に一役買っております。

外部より他流試合の申し込みや見学申し込みが有り事業所好感度向上に役立っております。

地域住民と数々の地域共生行事を行っておりますが、新たに「スマホ教室入門編」を当法人職員が講師を務めて地域住民様とデイサービスご利用お客様と一緒に学んでおります。

新しい年も自身の経営に取り組み姿勢を律してまいりますのでご指導とご高配を宜しくお願い申し上げます。

施設長あいさつ

「駿馬の如く、輝ける1年に」

障がい者支援施設ほくと 施設長 戸嶋 光成



謹んで、新春のお慶びを申し上げます。旧年中は、当法人の事業運営にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。駿馬のごとく駆けける一年に

今年度の干支である「丙午」は、情熱と行動力で突き進む年だとされています。皆様にとつて「駿馬、天に駆け上がる」が如く、素晴らしい一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。私共も、この「丙午」の勢いを見習い、さらなるサービスの向上と地域貢献に努めてまいります。

4年越しのボッチャ交流会
昨年、利用者の方々は、ブラウブリッツ秋田のナイター戦（ブラウブリッツ夏祭り2025）にご招待頂いたり、障がい者スポーツ大会への参加、個別外出など、充実した日々を過ごされました。特に印象的だったのは、他事業所とのボッチャ交流会でした。コロナ禍で対戦相手の調整が困難となり、じつと、コロナが通り過ぎるのを待つ日々が続きました。昨春にひだまりデイサービスさんとの交流会開催が申し合わされ、実に構想から4年越しの開催となりました。交流戦自体も盛り上がりましたが、このイベントは、長引くコロナ禍に一区切りがついた象徴のように感じられ、私自身も大変感慨深いものがありました。

感染対策と「限りある人生の時間」
「コロナ明け」という言葉が広まる一方で、福祉施設では引き続き慎重な感染対策が求められてきました。社会一般の感覚と施設での感染対策の間には大きな乖離が生じ、皆様にもご迷惑をおかけしたことを存じます。

このような状況の中、職員と議論を重ね、「限りある人生の時間」を最優先するという方針を導き出しました。私達は、ご本人とご家族の時間を最も大切に、その価値観に基づいて感染対策を講じています。

常に変化する外部環境への対応
入所施設では、居室面会や施設への入場を継続するため、在宅サービスでは「サービス提供を止めない」事を第一に、日々の感染対策会議で全国や県内の動向を共有し、あらゆる防衛展開を想定しながら事業運営を進めております。また、最近ではクマ対策も並行してサービス利用者や職員の安全確保に努めています。鳥インフルエンザ変異株など、感染症のリスクは今後も続くことが予想されますが、職員一同、「利用者の皆様の最大幸福」を目指し、2026年も邁進してまいります。

引き続き、ご関係の皆様からのご理解とご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

引き続き、ご関係の皆様からのご理解とご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

ほくと麻雀倶楽部

最近の利用者同士で余暇時間にほくとにある雀卓で麻雀を楽しまれています。



東

中

イエーイ♪



九萬

みんなでジャラジャラ♪



一牌入魂

元雀荘店長 S さんの感想

麻雀は脳トレにもなり、手先を動かして良いいりハビリにもなります。個人的に世界で一番面白い遊びだと思っているので、麻雀ができる環境が嬉しいです。

ワクワク♪

南

ふむふむ どうしよう…



新職員紹介



菅原 開道さん

10月1日から障がい者支援施設ほくとに入社しました

た菅原開道と申します。これまで老人、障がい分野の介護業務に従事してきました。まだ日も浅く先輩職員や利用者の皆さんからのご指導を頂きながらの毎日ではございますが楽しく務めることが出来るようになります。北杜らしい支援員になれるよう常に向上心を持ちながら務めていきたいと思っております。



新田 研さん

初めまして。9月から介護補助員として、主に男性

棟の清掃をしている新田研です。還暦を迎えて前職を退職してこちらにお世話になっています。趣味は休日のホームセンター巡りで、地元の男鹿市のホームセンターやドラッグストアで何かしらいい物がないかとぶらぶらしています。こんな私ですがどうぞよろしくお願いたします。

障がい者支援施設ほくと

ほくと大運動会を

開催しました!

十月二十九日、今年もほくとで大運動会を開催しました。種目は、お菓子食い競争、ジエスチャーゲーム、箱の中身はなんだろう、ポッチャワンショット対決の四種目。今年は男女チームに分かれての戦い。見事を制したのは、男性チームになりました!



選手宣言!



当ててみせます!

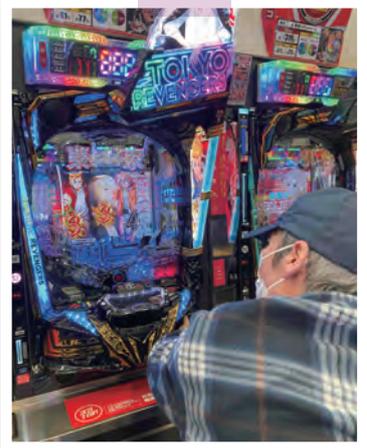


マットに向かってシュート!

ほくとパチ俱樂部で

活動してきました!

自治会「友交会」から生まれた「ほくとパチ俱樂部」で第三回目の活動をしてきました。これまで数々の闘いを繰り広げてきましたが、今回はメンバー全員苦戦…。また春以降の活動に勝負はお預けです!



ひよってるやついねーよな!?

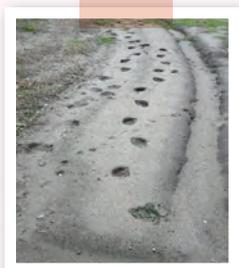


すっど打ちたかった最新台!

ほくとも熊が…!?
しっかり対策しています!



秋田県内、毎日熊のニュースで持ち切りですが、ほくとも熊が現れました。



ほくと裏にあった熊の足跡…!

建物裏の畑に熊の足跡が残されており、周辺にも潜んでいるとみられます。そこで、ほくとでは、爆竹、防犯ブザー、車から降り降りする際のクラクション、ドアの自動開閉、一時的な外出禁止など、皆さんの安全を第一優先に対策を進めております。今後も引き続き対策をしていきたいと思っております。



爆竹で対策!



出入りはブザーで対策!

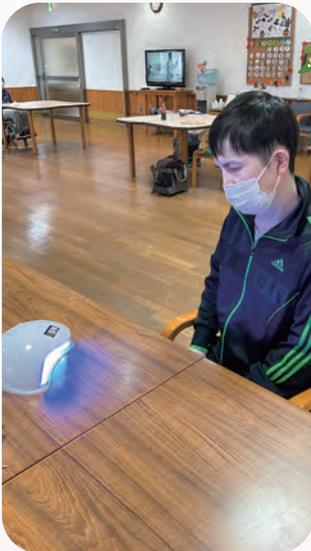
秋の外出行事



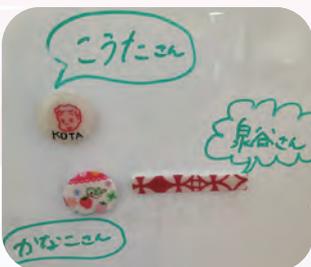
9月から10月にかけて、恒例の外出行事に行って参りました。旬の果物などの買い物や普段のほくととは違う昼食、ドライブなど、思い思いの場所へ出かけ、今年最後のほくとでの外出を思う存分満喫して頂きました。



創作活動



マグネットにお好みの布地を貼りつけてその上にコーティングをしたオリジナルマグネットを作成しました。個々のセンスの光る世界に一つだけの素敵な作品が出来上がりました。



収穫祭



春に植えたさつま芋の収穫を行いました。芋掘り初体験の利用者様もいらして、りっぱに育ったさつま芋に大きな歓声が上がっていました。収穫されたさつま芋は、利用者様の手でかわいい茶巾絞りにして皆様にもふるまわれ、実りの秋を味わって頂きました。



おめでとう！！



- ほくと 佐々木絢子さん
- ほくと 三浦 友裕さん
- ほくと 保坂 栄子さん
- ほくと 久米 康豊さん
- ほくと 小柳あゆみさん
- ほくと アネックス 泉 公平さん

(写真右から)

第68回優良社員表彰式にて、ほくとから6名表彰されました。

★優良社員受賞★



日本赤十字東北看護大学 介護福祉短期大学部 講師：及川 真一 氏

災害時どんな備えと行動が必要なのか！
災害食体験を通して防災について学ぼう！

材をポリ袋で調理をし、ポテトチップスでオムレツやオムライス、そして蒸しパンをポリ袋で簡単に調理をして美味しく作る方法などが、被災者支援リスクの高い方々にとって心身の健康を保つ上でとても大切であると感じました。

また、及川先生の講話では、秋田県の豪雨災害の状況を踏まえて、防災食のあり方と普段からの「小さな備え」の積み重ねが重要で、いざという時に自分と家族を守るために、食料品や水などの備蓄、避難方法の確認、そして家族との連絡手段の話し合いが大切である事を学び、ピアサポーターとなる人材の育成に役立つ有意義なセミナーでした。



HOKU TOPICS

ホリトピックス

社会福祉法人北社

令和7年度 自立支援セミナー
チャレンジ防災

令和7年10月13日 ▼ 日本赤十字東北看護大学

ほくと地域支援課

障がい者生活支援センター

相談支援専門員 金子 修人さん



編集後記

新年明けましておめでとうございます。
皆様、充実したお正月を過ごされましたか？私事ではありますが、昨年10月1日に入籍致しました。夫婦になって初めてのお正月を過ごし、新鮮な気持ちで正月を迎えています。結婚生活では、実家暮らしをしていた頃にやらなかった料理や掃除をするようになり、自分にとっては毎日が新しいことへの挑戦ばかりの日々になっています。

ほくと職員一同は、今年も利用者の皆様がやりたいこと、挑戦したいことを少しでも実現できるようにサポートしていきます。また、利用者さんの日々の健康と笑顔を大切に支援に励んでいきたいと思います。

今年1年が皆様にとって充実した1年になることを心から願っています。

菅生